

# 議会だより

No 157

平成30年  
10月31日発行

群馬県邑楽町議会 URL <https://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai> E-mail [gikai@swan.town.ora.gunma.jp](mailto:gikai@swan.town.ora.gunma.jp)



## 平成30年9月定例会

平成29年度 決算認定 (一般会計・各特別会計)

平成30年度 補正予算可決(一般会計・各特別会計)

### 一般質問 8人の議員が町の考えを問う

- ・大野貞夫議員
- ・原 義裕議員
- ・松島茂喜議員
- ・大賀孝訓議員
- ・神谷長平議員
- ・塩井早苗議員
- ・坂井孝次議員
- ・松村 潤議員

■決算質疑	3
■可決された議案	3～4
■一般質問	5～12
■わたしのふるさと等	13～14

### 動画による録画映像配信中

ホームページからアクセスできますので  
ご覧ください

# 9月定例会

## 平成29年度の決算を認定

**一般会計 歳入総額93億3,022万円**  
**歳出総額90億0,370万円**  
町税収入36億9,681万円（歳入総額の39.6%）

一般会計決算額は、歳入が前年度と比較して、2億5809万円の減少となりました。町税、地方消費税交付金、町債等が増加した一方、繰入金、繰越金、国庫支出金等が減少したことにより、繰入金については、公共施設等整備基金繰入金が1億3500万円、財政調整基金繰入金が7000万円減少し、繰越金は7395万円減少したこと、国庫支出金は社会資本整備総合交付金（道路整備事業）が2101万円、社会資本整備総合交付金（鶴土地地区画整理事業）が1100万円、臨時福祉給付金事務費補助金が837万円減少したこと等により、

町税収入は、前年度より5800万円増加の36億9681万円であり、歳

9月定例会では、平成29年度の一般会計決算をはじめ、各特別会計の決算が提出されました。各常任委員会において審査を行い、13日の本会議で各会計とも認定されました。

入総額に占める構成比は、前年度より1.6%増加の39.6%となりました。なお、町税の不納欠損については、前年度より2603万円増加の3672万円の処理が行われ、収入未済額は前年度より5307万円少ない2億9284万円余りとなっています。収納率について、現年課税分で見ると平成27年度98.5%、平成28年度98.5%、平成29年度98.7%と推移しており、収納の努力は認められます。

歳出においては、予算額91億7032万円に対し、決算額は90億370万円で、執行率は98.2%となっております。前年度の執行率は96.7%であり、1.5%の増加となっています。今後も年度内に事業を完了



拡幅された町道幹線5号線

できるだけ一層の努力を求めます。

歳出総額は、前年度と比較して1億5389万円の減少となっています。減少の主な要因は、町道整備国庫補助事業の減少や農業基盤整備国庫補助事業の減少などで、土木費が1億3840万円、農林水産業費が4692万円減少したためです。

平成29年度の一般会計の概要については、以上のとおりであり、実質単年度収支は昨年同様赤字となりました。町税は若干増加したものの、公債費は増加に転じたままです。また、少子高齢化等の進展により、今後とも扶助費を中心に財政需要が増大していくと見込まれます。引き続き、各事業運営の改善や効率化をより一層推進されるよう要望します。

(決算審査意見書抜粋)

平成29年度決算額

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	93億3,022万2,916円	90億0,370万1,416円	3億2,652万1,500円
国民健康保険特別会計	37億9,443万8,248円	35億9,781万9,623円	1億9,661万8,625円
後期高齢者医療特別会計	2億7,409万9,665円	2億7,304万4,211円	105万5,454円
介護保険特別会計	19億9,248万3,625円	19億1,304万0,154円	7,944万3,471円
下水道事業特別会計	2億3,569万9,425円	2億2,601万3,788円	968万5,637円
学校給食事業特別会計	2億4,027万7,585円	2億3,663万8,407円	363万9,178円

決算の  
主な質疑(要旨)

一般会計、各特別会計の決算にあたり、行政効果などについて質疑が行われました。

Q 大野貞夫議員

平成30年度予算の住宅リフォーム補助金は800万円に増額した。中小零細事業者の活性化が図られている。店舗への拡大を。

A 町長

都市建設課では、耐震診断に重点を置いている。店舗併用住宅への拡大は検討する。

Q 神谷長平議員

図書館費については、当初予算に工事請負費がなく決算書に計上されている。また、修繕費が補正されているが。

A 生涯学習課長

予備費活用で視聴覚室空調設備工事費を計上した。修繕費は、車庫のシャッターなどが故障したためである。

Q 松村 潤議員

不用額が毎年1億円くらい出ている。一般的に当初予算に対して何%くらいが妥当と見ているのか。

A 総務課長

一概には言えないが、昨年よりも少なくなっている。現在の数値を目標に努力していきたい。

Q 松島茂喜議員

賄材料費ということ、邑楽町の地場産の農産物をできるだけ多く使うことによって、地産地消も進み農家の方も助かると思うが。

A 教育長

地場産の食材を多く使うということを、十分協議していかなければならない。

可決された議案

〔条例改正等〕

邑楽町教育研究所設置条例の改正

中野公民館の閉館に伴い、教育研究所の設置場所を変更したことから、条例の一部を改正しました。

◆ 町道の路線認定

民間開発に伴い造成された道路が、町に帰属されたことから、町道路線の認定を行いました。

◆ 〔報告〕

平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、町の財政状況が健全であることが報告されました。

◆ 〔人事案件〕

公平委員会委員の選任

平成30年9月15日で任期満了となる公平委員の選任

について、小林茂さん（篠塚）を再任することに同意しました。

**固定資産評価審査委員会委員の選任**

平成30年9月21日で任期満了となる固定資産評価審査委員の選任について、岩崎年男さん（秋妻）を選任することに同意しました。

**意見書**

議員提案の意見書1件を可決しました。意見書は国会、関係行政庁に提出しました。

**群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書**

提出者 黒田重利議員  
賛成者 坂井孝次議員  
" " 大野貞夫議員  
" " 松村潤議員  
" " 原義裕議員  
" " 瀬山登議員

■平成30年度補正予算額

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	83億4,300万円	3億2,972万円	86億7,272万円
国民健康保険特別会計	32億7,935万円	1億6,895万円	34億4,830万円
後期高齢者医療特別会計	2億8,236万円	106万円	2億8,342万円
介護保険特別会計	19億4,777万円	7,946万円	20億2,723万円
下水道事業特別会計	2億8,153万円	0万円	2億8,153万円
学校給食事業特別会計	2億3,778万円	63万円	2億3,841万円

■健全化判断比率及び資金不足比率

健全化判断比率	邑楽町	早期健全化基準	財政再生基準
<b>実質赤字比率</b> 財政規模に対して、一般会計などが出した赤字額の割合	算定されず	14.63%	20.0%
<b>連結実質赤字比率</b> 財政規模に対して、町の持っている全会計が出した赤字額の割合	算定されず	19.63%	30.0%
<b>実質公債費比率</b> 財政規模に対しての借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合	6.3%	25.0%	35.0%
<b>将来負担比率</b> 一般会計などが将来負担しなくてはならない負債額の割合	算定されず	350.0%	—

資金不足比率	邑楽町	経営健全化基準	備考
事業の規模における資金の不足額の割合	算定されず	20.0%	下水道事業特別会計での算定

※黒字の場合「算定されず」で表示され、町の財政が健全であることを示しています。



## 一般質問



大野 貞夫  
議員

### 遊休地跡地のバイオマス 発電計画について

**問** 国道122号沿いのパ  
チンコ店の跡地に、バ  
イオマス発電計画が進めら  
れている。事業者並びに地  
元の動きについて町は把握  
しているか。

**答** **都市建設課長** 6月1  
日に事業者から事業計  
画の概要説明があった。そ  
の際、都市計画法の開発許  
可については、太田土木事  
務所であること。次に、町  
に対して事前協議を行う必  
要があり、地権者だけでな  
く地元住民に対して説明会  
を開き理解を求め、ことを  
指導した。その後、事業者  
は2回にわたり地元説明会  
を開催したが、開発許可申  
請並びに町に対する土地開  
発の事前協議とも申請はさ  
れておらず、具体的な事業

計画は示されていない。

**問** このヒューンズ電力株  
式会社の特徴的なこと  
は、主に投資ファンドをパ  
ートナーとして業務を行っ  
ている会社である。そして、  
2回の住民説明会とは別に、  
遊休跡地4600平方メー  
トルの所有者といわれる神  
奈川県横浜市の株式会社ブ  
ラットホーム名で、隣接地  
所有者に測量立ち会いにつ  
いての案内が送られてきた。  
その書面には、社印や電話  
番号も書かれてなく、不審  
に思った地元の人が確認し  
たところ、実は買っていない  
ことが判明した。その  
後、同じ文章で町内在住の  
所有者名で再度送られてき  
た。立ち会い当日、参加者

はごく少数で境界確定書の  
署名、押印を求められたが、  
事業内容が納得できないの  
で署名は拒否した経過があ  
る。また、燃料に使われる  
ヤシ油の非食用部分は、パ  
ームステアリンが問題の物  
質である。大量摂取したと  
きのがんのリスクの高まり、  
アメリカではバイオ燃料と  
して現在は認められていな  
い。ヨーロッパEU諸国で  
も、2020年までに段階  
的に廃止すべきとの決議が  
なされている。また、農作  
物等に与える影響も計り知  
れないものがある。通常、  
会社を起業する際、事細か  
い書類を提出する。受理さ  
れていないのに説明会だけ  
先行させているのはなぜか。

**答** **町長** 事業者が、地元  
の皆さんの理解を得る  
ための認識に立って行われ  
ていると思っている。

**問** ということは、住民の  
理解が得られなければ  
難しいと考えてよいのか。

**答** **町長** 当  
然、住民  
の安全安心の  
保障が前提で  
ある。土地開  
発の事前協議  
がなされてい  
ない。そのた  
めに、具体的  
な指導に至っ  
ていないのが  
現実である。  
バイオマス発  
電事業計画策  
定のガイドラ  
インの中に各  
種関係法令を  
遵守すること  
を定めている  
ので、当然、  
規制を受ける

もの思っている。私とし  
ては、地域の皆さんが安全  
で安心して生活できるよう  
な環境をつくっていかなく  
ればならないと思っている。



国道122号沿いの遊休地



大賀 孝訓  
議員

## 公共バスの利用促進について

**問** 立地適正化計画が出され、今後の町づくりについて大変重要な提言がなされた。その中で、公共交通をどのようにしていくかという問題が取り上げられた。公共交通については、交通弱者について公共交通の重要性が大きな課題となっている。4月から2路線のルートが役場で接点を持つて利便性を高めているが、路線変更後の乗降客の推移は。

**答 企画課長** 平成29年と平成30年では、4月157人の減、5月145人の減、6月260人の減、7月170人の減という状況である。

**問** 2路線については多額の補助金が出ているが、年間の補助額と町民が何回くらい乗ると費用対効果が出るのか。

**答 企画課長** 館林邑楽千代田線は390万円、邑楽太田線は900万円の補助額である。回数は館林邑楽千代田線は0・73回、邑楽太田線は1・68回になる。

**問** 町民が年間1回でも乗ると費用対効果が上がると費用対効果を図るため、利用の向上を図るため、バス停をコンビニエンスストアやチェーン店の前にするなど設置場所を再考する予定はないか。

**答 企画課長** 新設のバス停を設置して間もないことや今後の利用状況を調査し、総合的に判断していく。すぐに変更する予定はない。

**問** 全町で公共交通の利用増加のため、キャッチコピー的なものや広報紙でも随時PRをしてほしい。今後どのようなPRをするのか。アイデアはあるのか。

**答 企画課長** 毎日利用が見込まれる学生や事業者等へのPRや先進地等の事例を研究していきたい。

**問** 今後、学生や企業等へのアピールが必要だが、小中学生に公共交通の必要性を教育する必要もある。資料等を提示しながら小中学生への啓発をしてほしい。

**答 企画課長** 子どもたちへの認識を図ることも一つである。教育委員会や学校とも連携した啓発活動が行えるよう検討していきたい。

**問** 交通事情もあると思うが自由乗降バス、フリーバスを導入する方策は検討しているのか。

**答 企画課長** 安全運行の面から、関係機関である公安委員会等の許可が下りにくい。

**問** 近隣市町との連携、地域公共交通網形成計画を今後どのように進めていくのか。

**答 企画課長** 立地適正化計画の中にもあるように、館林都市圏の中で計画の策定については検討していく。

**問** 公共交通の振興については、利便性が高まったが乗客は減ってしまっ

ている。今後、これらの対策をどう考えるのか。  
課題を踏まえ  
存続させたい

**答 町長** 人口の減少や高齢化等の課題を踏まえ、公共バスについては、いろいろな方策を考えていく中で存続していかなければならない。

**その他の一般質問**  
・新体育館の建設について  
・全国学力検査の結果について



館林邑楽千代田線のバス

# 一般質問



坂井 孝次  
議員

## 邑楽町の農業政策について

### 農業の問題は 高齢化と後継者

**問** 国は、農業が大切だと言っていないながら成果が実感できていない状況にあると思う。町長は、この問題についてどのように考えているか。

**答** **町長** 国内消費者の米消費の大幅な減少だとか、消費の問題も大きく様変わりしている。加えて全安心な農畜産物の生産ということを考えていくと、全体的にはこれから日本の農業については、今まで以上に厳しい状況になってくるのではないかと思っている。

**問** 農林水産省の統計では、農業就業人口が平成22年から平成30年までで、年間約10万人ずつ減っている。

また、邑楽町の農業就業者から「農業を辞めたい」と何回か聞いた。農業就業者の推移はどのようになっていくか。

**答** **農業振興課長** 農業就業人口は、平成17年が1154人、平成22年が927人、平成27年が805人で、10年間で349人の減少である。また、農家数も平成17年が994戸、平成22年が877戸、平成27年が773戸で、10年間で221戸の減少となっている。

**問** 一様に減っているが、このような状況に対して、町としてはどのような施策を考えているか。

**答** **町長** 農家戸数は年々減少しているというところだが、農業従事者の高齢化あるいは農業後継者がなかなかいないということが大きな原因だろうと思う。町のほうでは少しでも応援ができるように、青年就農者への就農支援給付金、国の補助としては農業次世代人材の投資資金などの事業を行って、新規の就農者に対して応援をしていく。

**問** 農業に支援する方法でいろいろ考える方があると思うが、投資をするからには「大きな投資で大きなもうけ」という意識付

けでの取り組みが必要と思う。幸い邑楽町は日照時間ながい、災害が少ない地域などの利点がある。今回も台風が来たが被害は少なかった。それにこの近辺には、食品加工企業が数社ある。また、隣の町には大泉高校があり、バイオ技術の研究もしている。これらの財産を有効に使用して、農家と産学協同の研究施設などに投資してみても思っている。要するに、思い切った投資をしなければ農業の特産品も生まれてこない。どこでも同じような競争をしている中で、同じような投資をやっても勝てない。町長はこの点についてどのように考えるか。

**答** **町長** 農業の問題は、自然を相手にし、その上に立って技術的なものもなければ所得は上げられない。産官学の研究は大切なことだと思っているので、今後その努力をしていきたい。



高齢者が担う農業





原 義裕  
議員

## 福祉センター寿荘の 改修再生計画について

**問** 福祉センター寿荘は、いつできたのか。

**答** 健康福祉課長 昭和56年3月で、37年経過している。

**問** 耐震診断を行った結果、問題ないと聞いている。

**答** 健康福祉課長 この建物は、国からの補助金があったと思うが、償還金は残っているのか。

**答** 健康福祉課長 借り入れを起しているが、平成12年に全て返し終わっている。

**問** 施設に対する利用者の声と社会福祉協議会が指定管理者になっているが、ハードの部分について聞きたい。

**答** 健康福祉課長 ロビーの照明が暗い、駐車場に止められない、ふすまが破れている。照明は、LEDの導入を検討したが、工事の見積もりが高額であったため断念した。

**問** 最近5年間、トイレ、浴槽、浴槽のタイルの改修、耐震診断を含め約700万円かかっている。照明のLEDの改修について具体的に聞きたい。

**答** 健康福祉課長 確認したが、資料が残っていないため詳しい説明ができない。

**問** 資料は残す必要がある。利用者の平均年齢が70歳後半で、利用者も減って

いる。雨漏りもしていると聞く。時代に合った活性化を図り、リニューアルや改築計画を聞きたい。

### 計画に基づき 検討研究する

**答** 町長 今年度策定予定の公共施設個別計画に基づいて、検討研究を考える。雨漏りがしているのであれば、建物自体も早期の改修が必要になる。社会福祉協議会に確認していく。現状では計画に基づいて進めていく。

**問** 公共施設等総合管理計画に基づき、また、補正予算の中で公共施設個別計画策定支援業務委託料を1000万円計上している

**答** 総務課長 町の所有するすべての公共施設の建物を網羅している。

**問** 支援業務委託料に、福祉センターの計画も入っているのか。

**答** 総務課長 個別計画の中では、耐用年数や使い方等を調べ、優先順位やどのような内容で修繕等が必要なのかまとめるものであって、それに基づいて順次改修工事を行っていく。

**問** 福祉センター寿荘は、37年経って償還もなく雨漏りがしている。照明が暗く使い勝手が悪いと聞く。優先順位の中に入れ、利用者に夢を持たせたい。おおよそでもいいので回答が欲しい。

**答** 町長 優先的にという気持ちは、十分理解できるが、

他にも37年を超えた施設があり、すべて計画に盛り込んだ中で、建物の長寿命化を図っていくことが大前提であり理解していただきたい。雨漏りがするのであれば建物の損傷が進むので、優先的に取り組み、担当に調査をさせる。

**その他の一般質問**  
・松本公園の整備計画について



福祉センター寿荘



# 一般質問



神谷 長平  
議員

## 防災と教育について

**問** 新教育長に教育行政に  
対しての抱負を聞きた  
い。

**答 教育長** 一つ目は教育  
委員会事務局のさらな  
る活性化。二つ目は学校長  
の学校経営方針に対する全  
面的な協力。三つ目は教育  
委員会の充実。四つ目はス  
ポーツ振興の町の支援など  
行っていきたい。

**問** 抱負の二つ目の中で、  
児童生徒の安全安心な  
環境の確保について質問す  
る。中野小学校プールの東  
側と南側が駐車場のよう  
に使われている。何台くらい  
駐車されているのか。

**答 学校教育課長** 昨日は  
20台ほど止まっていた。

**問** 学校長名で学校敷地内  
につき許可なく駐車す  
ることを禁止すると書いて  
あるが、関係者以外の駐車  
も含まれているのか。

**答 学校教育課長** プール  
の南側は教職員が駐車  
している。

**問** 駐車場の南東には信号  
機がある。横断歩道を  
渡った出入口に車が止めて  
ある。また、校門東側の  
歩道幅員が2・1メートル  
ル、小学校と旧役場の境か  
ら信号機までは、フェンス  
から車道までの幅が1メー  
トルである。児童の安全を  
考えれば当然駐車場敷地内  
を通らせた方が危険性が緩  
和される。また、信号待も  
できるから危険が少なくな

る。信号機のそばから学校  
敷地内に入ると、すぐに6  
台分の車止めブロックがあ  
る。そのため、児童が通れ  
ない状況になっている。車  
の駐車と車止めブロックの  
移動はできないのか。

**答 教育長** 確かに正門の  
方から歩いてくると、  
6台止まっていて邪魔だと  
いうのは一目瞭然で分かっ  
た。早急な対応を取らなけ  
ればならないと考えている。

**問** 次に、各学校の児童生  
徒数の減少状況につい  
て、平成26年度と平成29年  
度の差を見ると、中野小学  
校が66人の減、高島小学  
校が25人の減、長柄小学校が  
12人の減、中野東小学校が  
36人の減で4校では139

人の減となる。また、中学  
校では、邑楽中学校が7人  
の減、邑楽南中学校が31人  
の減で2校で38人の減とな  
る。小中学校の合計では、  
4年間に177人減少して  
いる。平成29年度策定予定  
の公共施設等総合管理計画  
の策定時期はいつか。

**答 総務課長** 今後、入札  
の手続きを行い、遅く  
ても10月には発注を行いた  
い。

**問** 平成29年度末の住民課  
の資料を参考に試算す  
ると、中学校の生徒数は、  
平成30年度が738人、9  
年後は532人、その差  
206人の減。平成29年度  
の実積を基に学校別では、  
邑楽中学校が372人、邑  
楽南中学校が160人と予  
想されている。長期的寿命  
化計画を作成し、町にふさ  
わしい、教育の場を検討す  
べきではないか。

将来的に  
学校問題について  
慎重に審議を行う

**答 教育長** 将来的に人口  
減少が考えられる。町  
当局と学校問題について慎  
重に審議し、問題を解決し  
ていかなければならない。



小学校校舎から信号機・交差点方向



信号機・交差点から小学校校舎方向



松村 潤  
議員

## 防災・減災対策について

定められている。

**問** 災害発生時には災害対策基本法に基づき、予

防、応急、復旧、復興というあらゆる局面に応じ、国と地方公共団体の権限と責任が明確化されている。地方防災計画では、防災体制の確立、防災事業の促進、災害復旧の迅速適正化等を定めており、さらに多様な災害発生に備え、地域防災マニュアルや避難所運営マニュアル等を整備することになっているが。

**答** **安全安心課長** マニュアルについては、現時点では作成されていないが、災害時職員初動マニュアルが作成されており、その中で保健福祉部社会福祉班の分掌事務として、避難所の開設と運営に関することが

**問** 内閣府公表「避難所運営ガイドライン」には

「避難所生活は住民が主体となつて行うべきもの」とあるが、災害発生時の避難所運営の流れはどうなっているか。

**答** **安全安心課長** 流れや運営組織については具体的に示されていないが、基本的には、身の安全の確保から始まり隣近所の確認、避難するための避難所が被災していないか確認し、避難所の開設準備、開設、運営体制づくりとなる。避難所では、運営委員会を設置し運営業務全般を取りまとめる総務班、衛生状況を把握する衛生班、食糧、物資

を調達する食糧物資班、避難所情報を扱う情報班などを組織する。また、混乱期を過ぎた被災者にも負担にならない程度の役割を持つていただくことも必要で、

ストレスの解消や自立心の創出にも繋がる。現在、町には34行政区全てに自主防災組織が結成され、自主防災訓練を実施している所がある。町として各行政区においてさらに自主防災訓練が実施されるよう啓発に努めている。

**問** 内閣府の避難所運営等の基本方針によると、

被災者のニーズの把握や他の地方公共団体等からの応援団体の派遣調整等をする避難所支援班を組織すると

あるが。

**答** **安全安心課長** 邑楽町地域防災計画では、「防災組織体制の確立」の中で災害対策本部が組織されており、保健福祉部社会福祉班がボランティアの受け入れ、活用に関する活動を実施することになっている。災害時には、社会福祉協議会と共に、

災害ボランティアセンターを協働で運営している。

**問** 防災減災対策、町民が

安心して暮らせる住みよい町づくり、それは、全て行政の施策に委ねられていると考えるが。

**答** **町長** 邑楽町地域防災

自分の命は自分で守る



地域で行われた自主防災訓練

計画に基づいて防災減災対策を進めている。自助、共助、公助を重要視した中で特に自分の命は自分で守る、自助ということが大切である。さらに、自主防災組織としての防災訓練を行っていく行政区を一つでも広め、安心安全な町をつくっていく。

# 一般質問



松島 茂喜  
議員

## 町教育行政の課題について

**問** 先日の議会で新教育長の抱負が語られたが、学校教育の分野ではどんな課題があるのか。

**答 教育長** いじめ、不登校の問題や学校施設の老朽化、また、児童生徒の減少について考えなければならぬ。

**問** 教育相談事業では、平成28年度は545件。平成29年度は891件と相談件数が346件も急激に増加している。その要因は何か。

**答 教育長** 実人数にすると30人くらいと聞いている。相談件数が、増加していることは大きな問題だと思う。

**問** 学校、家庭、地域の役割が明確化されていないことから、その関係が希薄になっていると思うが、教育長の見解は。

**答 教育長** 学校支援センターを開設し、地域の方々が学校教育に携われる仕組みを構築している学校もある。

**問** 生徒数減少に伴う課題は、平成25年に実施したアンケート結果で分かった学区の再編、統合のどちらかを考えるべきとの回答が約6割である。今後、選択肢の検討を始めるべきだと思うが。

**答 教育長** 何もしないという訳にはいかないのだ、必要に応じてアンケート

トをとるなり、住民の意見を十分に聞かなければならない。

**問** 全く同じことを町長にも伺う。

**答 町長** 現状にあった教育行政をすることが必要である。

**問** 公共施設の個別施設計画では、小中学校の方向付けはどうなっているのか。

**答 総務課長** 現時点では、教育委員会も含め各課からの聞き取りは行っていない。

**問** そのヒアリングにはどんな考え方で臨むのか。

**答 教育長** タイミングを逃さずに出していきたい。

**問** 生涯学習分野での課題は、どのように捉えているのか。

**答 教育長** 1点目は、中央公民館の活用と維持管理費の低減や使用料の適切な徴収である。2点目は、町の将来を担う若者の健全育成である。3点目は、町立図書館の底上げである。4点目は、スポーツの推進であり、参加チームの減少問題などを体育協会等と十分協議検討したい。

**問** 中央公民館でなければ受けられないサービスがあることで、町外からの利用者を促進することができると思うが、何か方策はあるのか。

**答** 生涯学習課長 開館準備事業では高評価をいただいている。それを町外にも発信し、優れた活動を継続していくよう努力したい。

**問** 教育課題について議論する場として、総合教育会議がある。さまざまな教育関係者を招き最大限活用すべきだと思うが。

**答 教育長** 必要に応じて招くことは可能だと思う。



期待が寄せられる藤江新教育長



塩井 早苗  
議員

## 障がいをお持ちの児童 生徒への支援について

**問** 「みんなの学校」というドキュメンタリー映画を見た。それは、大阪市立大空小学校での実践を映画化したものである。子どもたち、先生、地域の方、保護者が一体となって成長していく姿が描かれていて大変感銘を受けた。特別の場所では障がいの子どもと関わるのではなく地域と一緒に暮らし、同じ教室で学び、お互いが認め合い、学び成長していく様子を描いていた。これをインクルーシブ教育という。町ではどのような状態か。

**答** **学校教育課長** 学校内に特別支援学級があり、それぞれの学年に協力する学級がある。授業の内容によって特別支援学級で勉強

したり、協力する学級に入ったり、勉強したりしている。一緒に勉強することはもちろん、休み時間には特別支援学級、協力学級の分け隔てなく一緒に遊んでいるので交流の機会は十分にあると認識している。

**問** 保護者のニーズに応えられているか。

**答** **学校教育課長** 特別支援学級に入るときはもちろん、どの教科の授業を協力学級に入って受けるかについても、保護者の意見や本人の意思を確認している。

**問** 子どもたち全てに対して発達保障できているか。

**答** **学校教育課長** 状態に応じ支援員や相談員が教室に入ってサポートすることもありません。

**問** 大空小学校は、子どもたちが生き生きしていることはもちろん、障がいの子どもたちも一緒に同じ教室で学ぶことで学力も向上している。子どもの発達で大切な自分で考える力、選り出す力、応用する力が培われている。教育長も各学校長に「学校の運営は任せていきたい」、「ある程度の学校の特性みたいなものを伸ばしていきたい」という抱負の言葉があったがインクルーシブ教育についての意見は。

**答** **町長** 健康者も障がいを持っていても同じ環境の中で教育を受けるということはやはり必要であ

**答** **教育長** 大空小学校では、障がい者という言葉を使わない。動き回っている子どもは、普通、多動という意識で見ている。また、自閉症の子については、マイペースでよくやっているという中で教室の中で温かく見守っている。賛同はしているが難しいという気持ちもある。来年度から教員免許取得の必須科目に特別支援教育が入った。今度新しく先生になる方は、障がい者の教育について学んでいるので、普通学級においても温かい目で見られるのではないかと思う。

**問** 町長の考えは。

尊厳と人権を大切に

**答** **町長** 健康者も障がいを持っていても同じ環境の中で教育を受けるということはやはり必要であ



る。人としての尊厳と、人権を大切にして育成をしていく学校教育が特に大切である。

**その他の一般質問**  
・地域包括ケアシステムの現状について



## 休憩室 The Lounge

### 子どもの未来に想う



田部井 幸枝  
(前原・4区)

わが家には、2人の女の子がいる。長女は来年中学生となり、子育ても一安心というところである。

しかし、心配の種は尽きない。友だち関係や犯罪等の心配、学習や塾の心配、部活動の心配等々学校生活だけでも不安が数多い。

子どもたちの未来を考えると、そうそう暗い未来だけではないだろうと想いを新たにしたい。

「あなたのところが  
きれいだからなんでも  
きれいに  
見えるんだなあ」

(相田みつお)

こんな心を持った大人になってほしいと日々悩みながら子育ては続く。  
何気ない日常の生活の中にこそ、子どもの成長にとって大切なものがあるのだと思っている。毎日の生活の中にささやかな幸せを見いだすことを心掛け、一杯の愛情を注いでいくことで、子どもたちの明るい未来を約束していきたい。

### 議会のうごき

#### 8月

- 6日 群馬県町村議会議長会臨時理事会
- 19日 おうら祭り
- 20日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 21日 戦没者追悼式
- 22日 議会運営委員会
- 23日 総務教育常任委員会  
産業福祉常任委員会
- 24日 全員協議会  
群馬東部水道企業団全員協議会

#### 9月

- 1日 邑楽町中央公民館開館記念式典
- 4日～14日  
第3回定例会  
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、  
全員協議会、広報委員会)
- 13日 館林地区消防組合臨時会
- 27日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会

#### 10月

- 2日 議会広報委員会編集会議
- 7日 町民体育祭
- 9日～11日  
邑楽郡町村議会議長会議長・局長合同  
県外視察研修
- 12日 議会広報委員会校正会議
- 15日 群馬東部水道企業団議会・太田市外三町  
広域清掃組合議会
- 18日 全員協議会
- 20日 町制施行50周年記念式典
- 22日 群馬県町村議会議長会理事会
- 26日 群馬県町村議会議長会議員研修会
- 31日～11月2日  
議会常任委員会合同視察調査

### 議会だよりの 表紙の写真募集

邑楽町議会では、議会だよりの表紙に掲載する写真を募集しています。  
邑楽町に在住・在勤であればどなたでも応募できます。  
皆さまの応募をお待ちしています。

## 議会を傍聴しましょう

### 次回の定例会は

**12月10日から14日**を  
予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は11日、12日を予定)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。  
役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継して  
いますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、  
中央公民館、長柄公民館、ヤングプラザに置いてあります。また、  
ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見  
ることができますので、ご覧ください。

URL <https://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>

詳しくは、議会事務局まで 47-5000

# 宮城県大崎市



原 勝也  
(鶏上・12区)

**私**の故郷は、宮城県玉造郡岩出山町です。

平成18年に1市6町が合併し現在の大崎市になりました。

宮城県の北西部で米所の大崎平野の中心部にあり、ササニシキ、ひとめぼれなどのお米を作っています。

大崎市岩出山は、東北自動車道古川インターを降りて鳴子方面に向かう途中にある静かな町です。

戦国時代の名将、伊達政

宗が仙台城に移るまでの1591年から1600年

まで本拠を置いていました。城址が臥牛城がむしのしろとしてあります。現在は、城山公園

として春は桜の名所で賑わっています。また、そこからの眺めも素晴らしく、岩出山が一望できます。

子どものころは山で木イチゴやアケビなどを採り、川では水遊びや魚採りなどして遊びました。

近くには、伊達家の学問所として、旧有備館や庭園があり、また、鳴子温泉や秋の紅葉で有名な鳴子峡などもあります。

実家には、今でも高校時代のクラス会があり帰っています。

東北も良いところがたくさんあり、ぜひ、皆さまも足を運んでみてください。



伊達家の学問所「旧有備館」

## 編集後記

西日本豪雨や北海道地震で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

「災害は忘れたころにやってくる」という言葉は過去のものとなっ  
てしまいました。土石流が流れ込んだ家の片付けをしている最中に次の大雨が降るといふ報道を見て心が痛みます。

そんな中で救われたことは、ボランティアで働く方のニュースでした。赤いタオルのハチマキと赤銅色に光る腕は、いつも炎天下で働いているであろうことを物語っていました。また、中学生や高校生がスコップを手に汗を流している姿も素晴らしいと感じました。

こんな風に助け合えることは大切なことであると実感しました。私たちの町もこのような助け合いの精神でみんなが暮らし、向こう三軒両隣が力を合わせるときと素晴らしい町になるだろうと思いました。

私たち議会も町民のために頑張りたいと思います。

(塩井記)